

釜石市立小・中学校における
学校規模の適正化・適正配置基本方針(案)地域説明会 結果概要

日 時 令和6年2月15日(木) 18時30分～19時30分
場 所 中妻地区生活応援センター
参加者数 19人
事務局 教育長ほか8人

【質疑応答】

○Aさん この適正化の説明はアバウトでは聞いていたが、教育委員会としていつからやりたいというのはあるか。

○教育部長 来年度中に、できれば推進計画をとりまとめれば良いと思っている。PTAや学校、関係者の話を聞いた中で、なるべく皆様の意向を踏まえた上で、スケジュールを進めていく必要があると思っている。

○教育長 例えば、学校を統合する場合、いろいろなパターンがあると思う。既存の校舎に入れる人数ということもでてくる。そういったところも踏まえて、今後計画をしていくことになるが、教育委員会としては、当面は複式学級の解消というところに起点を置きながら進めていきたい。

○Bさん 小中一貫校にすれば、複式は解消されるのか。

○学校教育課長 小中一貫校、義務教育学校になっても複式の基準となる人数は変わらない。実際には複式学級を有する小中一貫校、あるいは義務教育学校になる。それをカバーする9年間を見通した教育課程など、様々なデメリットをメリットに変える方策として検討が今後必要になってくると思う。

○Cさん 釜石市立小学校の現状のグラフについて、子どもの数が減少していくデータは何から算出したものか。

○学校規模適正化推進室課長 令和4年度、令和5年度の数字は、文部科学省のほうで実施している学校基本調査に基づいた数字になっている。その後の推計については、実際に釜石市で生まれた出生数、住所地から推計を出したもの。よって、小学生については令和11年度まで、中学校については、令和17年度までということを示している。

○Aさん 小学校が1クラス35人で計算をすると、6学級で210人。中学校は、9学級ということは315人。そうした場合、小佐野小学校をひとつ例にとるけれども、令和8年がボーダーラインなる。35人というのにこだわるのかどうか。

○学校規模適正化推進室課長 岩手県の基準として35人という方針が出されている。市としては、それを踏襲するという形をとっている。

○Dさん 「望ましい学校規模を確保するために(手法)」の方策として、「5中学校学区内から学校がなくなることがないように配慮する必要がある」という具体的な理由を伺いたい。

もう一つが、現状で釜石市にスクールバスがどのくらいあるのかお伺いしたい。

○学校規模適正化推進室課長 まず、5中学校区に1校ずつ小学校を残すというところだが、小学校と地域の関わりが非常に密接な部分があると考えている。複式を解消するからいきなり地域から学校をなくしてしまうという話ではなく、そこも考慮した上で進めていなければならないというところ。ただし、地域のほうから、「統合してください」という話が出てくる場合は、それを受けて教育委員会としても考えていくというスタンスで進めていきたい。

○学校教育課主幹 スクールバスに関しては、今現在所有しているのが10台で、大体稼働しているのが8台。故障した時に代用するというので、2台多く所有している。登校時は小中学生が一度に登校ということになるので、台数の確保は今後必要になってくると思っている。

○学校規模適正化推進室課長 補足になるが、例えば学校を統合した場合、学区の範囲が広がることが考えられるので、そうするとスクールバスについても、もちろん考えていかなければならない。基準として、釜石市の場合は、小学校ではおおむね2.6km以上、中学校の場合は、おおむね4km以上の場合、スクールバス等の通学手段の確保について配慮することとしている。統合した場合もこの基準でいきたい。

○Aさん 各地域の応援センターで説明会をやるのはいいが、やっぱり市内の各小中学校のPTAじゃないが、事前にレスポンスをとったほうがいいのではないかと。今日参加されている方は、興味があるから来ていると思う。だけど、今日来たいけれども、来られない方もいらっしゃるの、各学校の関係者と相談されて、PTAの役員だけでもいいから、こういうことを今やっているということをご説明いただければ、理解が深まるのではないかと。出前講座というのは。

○教育長 学校とPTA、または町内会などからぜひ説明を聞きたいということであれば、こちらから出向きたいと思っている。皆さんそれぞれ学校や地域、PTAさんなどにお帰りになって、お伝え願えればと思う。

○Eさん これをそのとおりに進めていってもらったほうが、釜石市のためには良くなると思うが、どう教育体系を持っていくかというところ。もう一つの側面は、中学校の場合はクラブ活動や運動、文化の面で、これらをどのようにして整合性をとって釜石市の教育水準を上げるために、どう配置を考えていくのか。地域との連携でクラブ活動をしましようという話もあるが、総合的に考えた場合は、そういうのも加味していかなければならないのではないか。

小学校の場合、クラス替えができない学校が結構多いと思う。基本的には、1中学校区に2つの小学校が望ましいといわれているところだが、その辺の解消の仕方というか、見通しがあるのであれば、お伝えいただきたい。

○教育長 小学校については、本当であれば2学級あってクラス替えできることが望ましいと考える部分があるが、釜石の現状を見たときに、小学校の学区が広がってしまい、子どもたちの負担が大きい部分もあるのではないかとこのところも考え、釜石市の場合には1学級でもやむを得ないのではないかと考えている。

1学級の人数については、少ないと子どもたちの多様な学びにはならないということで、なんとか15人というところであればグループ学習や音楽、体育の授業などができる人数になるのではないかとこのところ、15人を1学級の最低の人数として、今回基本方針（案）を出した。ただし、今後、1学級15人を下回る状況が見込まれるということであれば、当然そのあたりも考慮しながら具体的なところは考えていかなければならない。いろいろな活動を保障するというところで最低15人、上限は県の基準で35人となっているところで、今回、基本方針（案）に盛り込んだ。

それから、今、中学校の休日の部活動を地域移行する動きがある。おそらく、これから進んでくると思うが、平日の全ての部活動まで地域に移行するのは正直なところまだまだ時間がかかる。当面は、休日はそういう方向で、平日は学校の部活動が中心にならなければならない面があるというところで考えている。

そういった部分で、子どもたちのいろいろな負担面も考慮しながら、5つの中学校区から1つは小学校を残しながらやっていくのがいいのではないかとこのところ、今回の基本方針としたところだ。

○Eさん 学校教育としては、この基本方針で進めていくことは、人数の関係でそうしていかなければいけないだろうと思う。

部活動や文化面は人数が少なくなってくるとできないこともあるだろうし、大谷選手がグローブを3個ずつ学校に配ったが3人では野球ができない。それから小山怜央君が

将棋でプロになった。そういうことを考えていくと、文化面、体育面にしても子どもたちが健やかに育ち、興味を持ってやれる場面展開をしていくことが必要であると思う。部活にしても、土日で集めてやるなど、その辺をもう少し強化していかないと、釜石市に来て子どもを育てようという気にならないのではないかと。もちろん働く場も必要だが、そういう面で魅力のある小中学校、魅力のある育て方をきちっと持っておかないと、かなり難しいのではないかと思う。

特色ある学校づくりというのをまず目指しながら、これらの計画を、人が増えなければだめなんですけど、やってほしいと思うので、釜石の子どもたちをどう育てていくか、文化面でもスポーツ面でも目標があればお示ししていただきたい。

○教育長 学校が万が一統合になったとしても、その統合になった学校の魅力をどう出していくのかというところが大きな課題であると改めて考えた。そういうふうになることが、学校規模の適正化の一番の目的であると思っている。

ある程度の規模になることによって、学校が子どもたちにとって魅力あるものになればいいなと思っている。小規模だからだめだとかそういうことは決して思っていないし、複式だからだめだということも全く思っていない。複式にも良さがあるし、小さな学校にも良さがある。当然、大きな学校にも良さがあるし、お互いに良さがある中で、今の釜石市の現状の中でどういうものを大事にしていかなければならないかということを考えていくことが大きなところだと思っている。

それから部活動の部分について、魅力ある環境をつくっていくということも大事だと思っている。学校だけで教育を全て行える時代ではないし、地域の中に子どもたちの学びの場があるということ、そこで子どもたちの社会性が育まれたりとか、いろんなものが育まれるということも事実である。まさにそれが地域移行の大きな目的だと思っている。そういった部分についても連携しながら、学校統合だけではなく、子どもたちにとって釜石市で学ぶことが、いろんな面での学びがいいものになることを大事にしていきたい。

○Bさん 私の子どもが、前回の統合時期にあたって、小中高と統合を経験させてもらった。私もその時、携わった一人として、えらい大変だった。なんでこんなにやらなければならないのか、まだまだ子どもたちがいるのにと思ったが、それから20年経って子どもたちの数が減ってしまった。結果的に子どもの意見を聞くと、統合してよかったよね、と。要は小さい学校ではやれることがやれなかったけど友達が増えたし、それに伴って嫌なことも増えたけど、統合してよかったという子どもの意見を聞いたのをふと思い出された。

今回もまた、前回以上に学校区の範囲が広がってしまう可能性があるが、子どもたち、学校教育ということで考えれば、他地区のことも考えて、それなりの人数で切磋琢磨したほうが、子どもたちのためになるのではないかと思って、できれば早めに統合を進めていただきたい。意見として願います。